

COMPASS

羅針盤

自分の可能性に
挑戦しよう!



◎合格体験記
◎入試結果

国公立大学46名合格!

令和5年4月8日 No.76
岐阜県立中津高等学校 進路情報

～受験体験記～

『挑戦』（阿木中出身） 小樽商科大学 商学部

勉強方法は人と話したり教え合ったりすることが一番充実した方法だと思います。友達と話をして理解できたことは頭によく残るし、友達との仲も深まりました。また、自分に合った教材を見つけることもモチベーション向上につながると思います。私が受験を通して感じたのは色々なことに挑戦しておくことの重要性です。私は1年生の時から英検取得に取り組んだことで、受験で強みになる要素を早い段階で持つことができました。また、高大連携講座に参加したことで自分の興味のある分野を見つけることができ、進路決定のきっかけになりました。何事も取り組むのは早ければ早いほどいいと思います。時間のあるうちにたくさん調べてみてください。

『考え続ける』（付知中出身） 東京都立大学 法学部 法学科

私は2年生の秋頃から受験勉強を始め一般入試で東京都立大学、共通テスト利用入試で2校の私立大学に合格することができました。これを通して私が受験において大切だと思ったことは二つあります。一つ目は合格するための戦略を自らの頭で考え続けることです。使用する教材や勉強のスケジュール、共通テストや二次試験の目標得点などを自分の現状と照らし合わせながら設定していくことが肝心だと思いました。二つ目は何かを切り捨てる勇気を持つことです。これは人によって異なります。もちろん何も切り捨てないに越したことはありませんが、時間に限りがあるなかで一步でも志望校合格に近づくことができる選択をしてほしいです。勉強をしていく中で思うようにいかず苦しいこともあるかと思いますが諦めずに続けることでしか合格は得られません。頑張ってください。

『日々の積み重ね』（坂本中出身） 愛知県立大学 外国語学部 英米学科

受験を通して、私は改めて日々の積み重ねの大切さを感じました。今、私が志望校に合格できているのは日々の授業やテストをおろそかにしなかったからだと思います。また、自分に合った勉強方法を行ったことも大きかったです。そして何より大切にしていたこととして、あまり自分を追い詰めず楽しんで勉強しようと思がけていました。勉強を楽しむなんてそう簡単なことではないと思います。正直、私も勉強を好んでいたわけではありません。しかし、勉強することで自分の視野を広げることができるぞとポジティブに考え取り組むことで、勉強を進んで行くことができました。受験は自分がどれだけ積み重ねてきたかが鍵になります。今を大切に精一杯頑張ってください。私もさらに上を目指して努力していきます。

『きっかけ作り』（南木曾中出身） 新潟大学 法学部 法学科

私は、公募制の学校推薦型選抜で新潟大学を受験しました。志望校を決定してからは受験対策として新聞の社説要約を行ったり法や政治に関する本を読んだりすることで幅広い知識を身につけることに努めました。そして、入試課題が発表されてからは面接で少しでも論理的な回答ができるように課題の分野に関する情報をインターネットや本を用いて細かく調べたり、先生や友達、家族など身近な人と直接意見を交わしたりすることで様々な考え方を理解し面接に活かすことができました。また、推薦入試とほぼ同時進行で共通テストに向けての勉強も本格化していきました。共通テストに向けての勉強は周りと同じ勉強時間を競うことで、着々と知識を身につけることができました。私は受験期を通して、物事に本気で取り組むには何かしらの自分にとってのきっかけを作ることが大切だと感じました。今後は様々な場面で早めにきっかけを作って物事に挑戦していきたいです。

『頂上を目指せば少なくともその途中までは登ることができる』(蛭川中出身) 静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科

どうやって自分の実力を上げたらいいかわからない、そんな時に出会ったエド・シーランの言葉がわたしの考え方を教えてくれました。“if you don't aim for the top of mountain how you are ever going to get a halfway?” わたしはこの言葉に出会って恐れていたのはダメだと気づきました。夏休みは毎日10時間勉強を目標にし、勉強のできる子に参考書や勉強方法のアドバイスをもらう。10時間が慣れてきた頃には一日12時間できるようにもなりました。そして夏休み明けから徐々に伸びを感じ、模試の学年順位で一桁を取ることができました。もちろん相手は全国、まだまだ頑張らなければいけない点数でしたが、もし私が一日6時間目標としていれば、そこに辿り着くこともできなかったでしょう。これからみなさんの前に立ちはだかる壁は怖気付いてしまいそうなほど大きく見えるでしょう。しかし登ってしまえばもう怖くはありません。自分にとっての頂点を目指して頑張ってください。

『受験を通して』(坂下中出身) 信州大学 経法学部 応用経済学科

私は共通テスト利用推薦入試で合格することができました。始めは勉強しながらネガティブ思考に陥り、集中力が保てませんでした。そんな私が集中力を継続させた方法を記します。一つ目は「50分勉強+10分休憩のサイクルを繰り返すこと」です。焦って連続で何時間もやろうと計画すると、勉強を始めたくなくて時間がどんどん過ぎていってしまいます。そんな時は50分だけ勉強しようという気持ちで始めてみてください。休憩の10分間には、音楽を聴いたり、目を休ませたりすることがおすすめです。二つ目は「勉強場所を変えること」です。学校やにぎわいプラザでは、自分と同じく受験を頑張っている人が多くいるので、刺激を受け、自分に厳しくなれます。受験勉強は苦しいと思いますが、努力は裏切りません。自分を信じて頑張ってください。

『受験勉強は普段の勉強の延長』(苗木中出身) 大阪大学 人間科学部 人間科学科

私は、共通テストありの総合型選抜で合格しました。私が受験期に大切だと感じたことを二つ伝えたいと思います。一つ目は、毎日少しずつでも勉強を続けることです。無理に長時間やっても続かないし、体調も崩しやすくなります。私は、自分のペースではありますが、3年間ほぼ毎日勉強しました。受験勉強は普段の勉強の延長だと思うので、早いうちに勉強する習慣をつけられると良いと思います。二つ目は、目標を周りの人に言うことです。私は最初、第一志望の大学は目標というよりただの憧れでしかなく、不合格だったら恥ずかしいと思って、周りの人に言うのをためらっていました。ですが、口に出すことで良い意味でプレッシャーになったし、様々なことに挑戦するきっかけになりました。辛いときもたくさんありましたが、応援し、指導してくれた先生方、一緒に勉強してくれた友達、支えてくれた家族のおかげで最後まで第一志望を諦めずに頑張ることができました。本当にありがとうございました。

『大学受験のすゝめ』(第一中出身) 愛知県立大学 外国語学部 英米学科

私は3年生で英検準1級を取得し、受験期に本当に受けてよかったと思いました。私立では英検を利用して受験できる大学がたくさんあります。国公立では多くの大学で英作文が課されます。多くの高校生は、しっかりした英作文を、辞書などを使わずに、自力で書くことはできないと思います。英作文は英語で最も点数を伸ばしやすく、最も差がつくところです。英検はそれを練習、経験する良い機会です。また、共通テストは英単語の問題がありません。そのため、英単語の勉強が疎かになってしまいがちです。実際に私もそうでした。しかし、英検で培った単語力で何とか乗り越えることができました。英検は「英語が得意な人が力試しに受ける物」ではありません。「英語を得意になるために受ける物」です。

『人間的に強くなる』(付知中出身) 岐阜大学 教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育講座

受験を終えて本当に言葉にできない気分です。このような気分になれる人は最後まで真剣に取り組み、諦めなかった人だけです。ここまで辿り着くまでの過程で学んだことを二つ紹介します。一つ目は早く気付くことです。勉強をやっていて、もっと早い時期からやらなければいけないことに気づけていたらどれだけ楽だろうと何度も思いました。とにかく早く気付いて受験勉強を始めて下さい。二つ目は仲間の大切さです。本気で第一志望の大学に合格しようと努力している仲間や合格して幸せな人生を歩もうと必死に頑張っている仲間の姿を見て自分も全力になることができました。平日・休日問わず一緒に勉強してきたからこそ合格することができたと思います。最後に言いたいことは最後まで真剣に諦めずに取り組みれば必ず良い結果が待っているということです。受験シーズンは長いようでとても短いです。人間的に強くなってどれだけできるかが勝負です。頑張ってください。

『受験のおかげ』(恵那西中出身) 福井大学 国際地域学部 国際地域学科

総合型選抜試験の内容の一つとしてプレゼンがありました。最初は、『留学に行った』という経験だけが自分の強みだと思っていました。しかし試験の準備をしていく際、自分が留学を通して何を学び、どの様に視点が変わったのかを分析していく力が問われました。私はそのようなことに苦手意識をもっていたためとても苦労しました。先生方に手助けしてもらいながら、自分自身を改めて理解することができました。その恩恵は、受験が終わった今でも感じています。自分の苦手な教科に対しては、特にどの単元が苦手なのか、どういうところでいつも躓いているのかを毎回考えてから共通テスト勉強に取り組めるようになりました。これは、今後の生活にとっても活かされる力だと思います。多くの経験を積み、自分に自信が持てる何かを一つも見つけるのは、いつからでも遅くないなと思いました。

『仲間と共に勝ち取る』(恵那北中出身) 岐阜大学 教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育講座

私は受験を通して人間はやはり一人では成し遂げることはできないということを改めて実感しました。私を救ってくれたのは共に戦った仲間や家族、先生の存在でした。やはり私が一般受験まで頑張ることができたのは仲間と共に励まし合いながら学校だけでなく休みの日まで一緒に勉強をしたからです。そこには毎日送り迎えをしてくれる両親や、何度も何度も聞きに行ってもわかるまで教えてくれる先生の存在が欠かせませんでした。本当に受験は団体戦であると感じました。今の自分があるのも仲間のおかげです。私が受験で一番大切であると思うことは、一緒に切磋琢磨できる仲間や自分が勉強しやすい環境を作ることだと感じました。仲間と共に最後まで戦いきれたことが一番の思い出です。

『継続する力』(付知中出身) 名古屋工業大学 工学部 物理工学科

私は高校2年生の秋頃に志望校を決め、受験勉強を始めました。しかし模試ではなかなかいい判定がもらえず、3年生最後の模試もD判定でした。それでも挫折せず残りの2ヶ月間全力で勉強した結果、本番でB判定をもらうことができ、無事合格することができました。私が受験勉強を通して学んだことは一度立てた目標をやり抜く大切さです。私が志望校を決めてからは友達と遊ぶことを極力減らし、空き時間のできる限りを勉強に費やすようにしました。また、途中投げ出したくなることも多々ありましたが、友達と支え合いながらなんとかやってきました。そのおかげか共通テストを解く時は自信を持って取り組むことができ、自己最高得点を取ることができました。目標に向かい、努力し続けることで合格に大きく近づくと同時に、自分に自信が持てるようになります。なので皆さんも何か目標を作ってその目標に向かって全力で取り組んでみてください。

『大学受験を経験して』(神坂中出身) 信州大学 農学部 農学生命化学科 植物資源科学コース

私が大学受験を通して大切だと思ったことは、自分が次にする事を把握して行動することです。これは、勉強のことで自分の進路のことで大切だと思いました。勉強面では闇雲に勉強するのではなく、模試の結果などを見て今自分に足りてない力を補えるように勉強するのが大切だと思います。特に3年生になると模試の回数が増えてくるので、終わった模試から自分の足りないところを把握して、次の模試に繋げることが効率よく勉強できる方法だと思います。進路の面では、やはり早めに進路を決めることが大事だと思います。私の体感では推薦試験を受けるかどうかの選択をするのがとても早く感じました。早めに進路が決まっていれば推薦試験や総合型選抜などに出願する選択肢も増え、受験のチャンスを増やすことができます。とにかく早め早めの行動を心がけ、自分に必要なことをしていくことが大切だということを、受験を通して感じました。

『受験生活』(恵那東中出身) 山形大学 農学部 食料生命環境学科

私が受験を経験してやってよかったと思ったことが二つあります。一つ目は休日の生活習慣を良くすることで、私は起きる時間が遅いと勉強のやる気が出なくなってしまうタイプだったので起きる時間を早くすることでより勉強に集中することが出来ました。しかし、睡眠時間が短すぎると良くないので私は最低でも7時間は睡眠をとるようにしていました。二つ目は自分の勉強スタイルを早めに確立することです。2年生までに自分の勉強スタイルを確立することができたら3年生からはそれに沿って突き進むだけです。最後に伝えたいことは、受験はメンタルがとても大事だということです。疲れている時はしっかりと休みましょう。体調を崩してしまうのが一番良くないです。志望校目指して頑張ってください！

『実力を積み上げる』(第二中出身) 名古屋工業大学 工学部 情報工学科

私が受験生活において大事だと思ったことを二つ紹介します。一つ目は、国語と英語の大切さです。理系の人には数学や理科に重点をおきがちになると思います。私もその一人ですが、共通テストの物理で思うような点が取れませんでした。しかし、国語と英語が良く、無事第一志望の大学に出願することができました。振り返るとそれは、国語と英語をコツコツやっていたからだと思います。国語と英語は、すぐに点数が伸びる教科ではありません。なので、定期テストや模試などに真面目に取り組んで実力を積み上げていくべきだと思います。二つ目は、動画を活用することです。私は復習をする際、いつも Youtube やスタサプなどを使って理解を深めていました。私は動画の方が、参考書を読むより頭に入ってきやすかったためです。また、複数の解説動画を観ることで、根本的な理解や抜けている部分の復習につながると思います。

『受験を乗り越えて』(瑞浪北中出身) 富山大学 工学部 工学科

受験期でやるべきことは、一日の計画、一週間の計画、そして数ヶ月間の計画を立てることです。そうすることで、時間を無駄にすることなく効率よく勉強ができます。私は周りより本格的な受験勉強を遅れてスタートしました。だから、人より倍の量の勉強をすることはもちろん、効率よく勉強することも心がけました。特に受験期は時間が足りないため、いかに模試などで自分の弱点などを明確にし、効率よく勉強をしていくかが大切です。すぐに結果が出ることはなく苦労しましたが、自分のやるべきことは常にこれ以上ないくらいやりきりました。そして感じたことは受験直前の猛勉強よりも、日々の積み重ねの勉強の方がよっぽど大事だということです。受験はそう甘くないものです。本気で向き合い、今この瞬間から、後悔のない生活を送って欲しいと思います。応援しています。

『定期テストは通過点』（第一中出身） 山梨大学 工学部 機械工学科

私が受験勉強を通して感じたことは特に二つあります。一つ目は復習を怠ってはいけないということです。私は三年間定期テスト勉強を特によくしてきました。そのおかげで勉強した分野は一定期間解けるようになっていてもその復習を怠ったせいで、模試でその分野が出て解くことができませんでした。だから定期テストはあくまで定期テストであって一番大事なのは知識の定着だと考えています。定期テストの点数で満足することなくしっかりと復習して行ってほしいです。また、模試の解き直しも有効なのでしっかりと欲しいです。二つ目は周りのサポートに助けられたということです。私が勉強に集中できるような空間を両親が作ってくれたり、先生方が総合型選抜の練習を親身に付き合ってくれたりしたおかげで成し遂げることができたと感じています。自分が勉強に集中できているのは周りのサポートがあるからだということを忘れずに取り組むことが大切だと考えています。

『大学受験を通して』（福岡中出身） 琉球大学 理学部 物質地球科学科

受験に向かう上で一番大切だと感じたことはその大学の傾向を、赤本などを通してしっかりと把握することです。自分がうけた大学では数Bの範囲は空間ベクトルか数列の漸化式の二択だったので、傾向を知れたおかげで大幅に勉強範囲を削減することができました。勉強に行き詰まった時、気分転換がしたい時、おすすめなのが勉強動画です。机に向かってばかりだと息が詰まってしまうので、そんなときに活用してみるといいと思います。最後に、まるで自分のことのように進路について真剣に考えてくれた先生に、最後まで諦めず根気よく応援してくださいました先生方に感謝を。受験期間中、応援してくれた先生方や家族に報えたと言えるよう、大学生活を身のあるものにしていきたいと思っています。